

第13回地球流体力学研究集会「地球流体における波動と対流現象の力学」

九州大学応用力学研究所の共同利用事業の一つとして、下記のような研究集会を開催致しますのでご案内申し上げます。

研究集会代表者 新野 宏 (東京大学 海洋研究所)

記

日 時: 2011年12月14日(水)~12月15日(木)

会 場: 九州大学筑紫キャンパス 応用力学研究所 本館3階 講義室

Tel. 092-583-7240 (世話人 和方) <http://www.riam.kyushu-u.ac.jp> (HP参照)

プログラム

12月14日(水)

12:50-13:00 代表者挨拶 新野 宏 (東京大学 海洋研究所)

13:00-13:25 三村 和男 (東海大学 教養学部)
半球規模傾圧不安定波動実験において現れる中立惑星波

13:25-13:50 渡邊 俊一 (東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻)
円筒容器内で回転する水の表面の変形とその履歴現象

13:50-14:15 松田 慧 (東京学芸大学), 佐藤 尚毅 (東京学芸大学)
領域モデルWRFによる関東における豪雨の予測可能性

14:15-14:40 本田 匠 (九大院理), 川野 哲也 (九大院理)
スーパーセルストーム発達に適した環境場についての数値的研究

14:40-15:00 Break

15:00-15:25 圓井 拓哉, 伊藤 久徳 (九州大学大学院 理学府)
アリューシャン低気圧・アイスランド低気圧と移動性高低気圧との関係

15:25-15:50 横田 祥 (東京大学大学院 理学系研究科 地球惑星科学専攻)
ITCZ breakdownに伴って生じる台風の発生・発達過程

15:50-16:15 前島 康光 (名古屋大学地球水循環研究センター)
全球静力学-雲解像結合モデルの開発

16:15-16:40 林 未知也, 伊藤 久徳 (九大院・理)
熱帯での積雲対流に関連した大規模運動におけるNontraditional Coriolis項の重要性について

16:40-17:05 伊藤 純至 (東大大気海洋研), 新野 宏 (東大大気海洋研), 中西 幹郎 (防衛大学校)
塵旋風のスケーリング

17:05-17:30 河谷 芳雄 (JAMSTEC), Kevin Hamilton (ハワイ大学 IPRC), 野田 彰 (JAMSTEC)
赤道準2年振動の将来変化に対する二酸化炭素濃度と海面水温の役割

18:00- **懇親会**

1 2月15日 (木)

- 9:00-9:25 栃本 英伍, 川野 哲也 (九州大学大学院理学府)
梅雨前線帯の低気圧の発達過程と環境場
- 9:25-9:50 佐藤 尚毅 (東京学芸大学/JAMSTEC 地球環境変動領域), 齊藤 崇裕 (東京学芸大学),
城岡 竜一 (JAMSTEC 地球環境変動領域)
黒潮/黒潮続流域周辺における冬季の降水量の経年変化
- 9:50-10:15 佐藤 由布子 (東京学芸大学), 佐藤 尚毅 (東京学芸大学)
東京・名古屋・大阪の気温・風向風速の日変化とその経年変化
- 10:15-10:40 山崎 哲, 伊藤 久徳(九大院・理)
大気ブロッキング持続メカニズムにおける渦と渦の相互作用 (その2)
- 10:40-11:00 Break
- 11:00-11:25 安永 数明 (海洋研究開発機構)
赤道波動擾乱における降水特性の違い
- 11:25-11:50 山田 道夫, 竹広 真一 (京都大学 数理解析研究所)
Rossby 波による平均流加速 ---定量的予測について
- 11:50-13:00 LUNCH
- 13:00-13:25 杉本 憲彦 (慶大日吉物理), 小林 宏充 (慶大日吉物理), 下村 裕 (慶大日吉物理),
石岡 圭一 (京大理)
浅水系における回転渦系対からの自発的な重力波放射
- 13:25-13:50 伊賀 啓太 (東京大学 海洋研究所)
折れ線速度近似した基本流のシア不安定につながる中立波
- 13:50-14:15 岩山 隆寛 (神戸大・理), 渡邊 威 (名工大・工), 末吉 雅和 (気象研・気候)
一般化された2次元流体系における渦列・渦層の線形安定性解析
- 14:15-14:40 佐々木 英一, 竹広 真一, 山田 道夫 (京都大学数理解析研究所)
回転球面上の帯状流の線形安定性
- 14:40-15:05 松尾 花枝 (九大院理), 中島 健介 (九大院理)
同期回転惑星の海洋循環についての基礎的考察
- 15:05-15:30 Break
- 15:30-15:55 木村 恵二, 竹広 真一, 山田 道夫 (京都大学数理解析研究所)
回転球殻内の Boussinesq 熱対流問題の安定性と分岐構造及び熱対流が両側球に及ぼす影響
- 15:55-16:20 山下 はづき, 伊藤 久徳 (九州大学大学院 理学府地球惑星科学専攻)
テレコネクションパターンの成因 ---中立特異モードと純粋な低周波変動からのアプローチ

16:25-16:50 加藤 亮平 (九大院理), 杉山 耕一朗 (北大低温研), 中島 健介 (九大院理)
3次元モデルによる木星大気大規模渦の数値実験- 統計的定常状態における 渦の振
る舞いと生成メカニズム-